



新たな知の
地平を拓く

京都大学 附置研究所・センター
22 Research Institutes and Centers
Kyoto University

京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都大学仙台講演会

京都からの提言

21世紀の日本を考える(第9回)

日時 2014.3/15(土)
10:00▶17:15

場所 仙台国際センター 大ホール
(仙台市青葉区青葉山)
交通アクセス/JR仙台駅:バス10分+徒歩1分
JR仙台駅:タクシー7分

● 募集定員:500名(入場無料)
※応募申込みは先着順となります。

「社会と科学者」

プログラム

- 10:00▶10:15 【開会の辞】
松本 紘(京都大学総長)
- 10:15▶10:30 【歓迎挨拶】
里見 進(東北大学総長)
- 10:30▶11:15 「発達障害と現代の意識」
河合 俊雄(こころの未来研究センター教授)
- 11:15▶12:00 「合成化学:未来を創る科学技術」
山子 茂(化学研究所教授)
- 12:00▶13:00 休憩
- 13:00▶13:45 「折り紙でつくる化学コンビナート」
森井 孝(エネルギー理工学研究所教授)
- 13:45▶14:00 休憩
- 14:00▶15:00 「歴史研究から災害を考える」
平川 新(東北大学災害科学国際研究所 所長・教授)
- 15:00▶16:00 「iPS細胞・これからの取組み」
山中 伸弥(iPS細胞研究所 所長・教授)
- 16:00▶16:10 休憩
- 16:10▶17:00 【質疑応答】
司会:岩田 博夫(再生医科学研究所 所長・教授)
講演者:河合 俊雄、山子 茂、森井 孝
平川 新、山中 伸弥
- 17:00▶17:15 【閉会の辞】
森澤 眞輔(iPS細胞研究所 副所長・教授)

お問い合わせ先

〒606-8507
京都市左京区聖護院川原町53 京都大学再生医科学研究所総務掛
E-mail:kouen@frontier.kyoto-u.ac.jp
TEL:075-751-3803 FAX:075-751-4646
(当日のお問い合わせ先
仙台国際センター大ホール TEL.022-265-2211)
*参加者の情報は、適切に保護し、本シンポジウムの開催・受付の目的以外
には利用いたしません。
*やむを得ない事情によりプログラムが変更になる場合があります。
*申込状況によりモニター会場となる場合があります。

参加お申込み方法は裏面へ
<http://www.kuic2014.jp/>

講演者紹介

「発達障害と現代の意識」

近年、子どもにおいても大人においても発達障害の増加が指摘されている。発達障害は中枢神経系の問題と考えられていて、サポートと訓練による対応が主にされている。これに対して、発達障害においては「主体」の弱さが問題であることを明らかにして、主体を発生させるような心理療法的アプローチとその成果を明らかにしたい。さらには、近代主体が確立されない現代の意識と発達障害の増加との関係を論じたい。



河合 俊雄
京都大学
こころの未来研究センター
教授 (臨床心理学)

「合成化学：未来を創る科学技術」

21世紀はプラスチックの時代とも呼ばれており、プラスチックに代表される人工高分子により作られる様々な材料が、現在の我々の生活を様々な場面で支えている。その一方、高分子化合物が人工的に作られるようになってから、まだ100年程度の歴史しかないため、高分子を作り出す合成技術は大いなる発展の可能性を持つ。本シンポジウムでは、この分野の最先端研究がどのようになされ、その成果がどのように社会に還元されるのかについて、その一端を紹介する。



山子 茂
京都大学化学研究所
教授 (高分子化学)

「折り紙でつくる化学コンビナート」

生命活動は、細胞内で起きる多段階の化学反応によって支えられています。これらの反応を担う酵素などの分子は、細胞内で整然と並んでいることがわかってきました。石油から燃料や化成品を効率良く生産するために関連施設が集中的に立地する石油化学コンビナートのようなものです。分子で作った折り紙を使って異なる酵素を1分子ずつ決まった場所に配置する、細胞の外での化学コンビナートの実現にむけた研究を紹介します。



森井 孝
京都大学
エネルギー理工学研究所
教授 (生物機能化学)

「歴史研究から災害を考える」

動物は自然をありのままに受け入れてきた。自然の脅威にも素直に従うしかない。だが人類はそれに抗った。快適に生活する空間を独自に切り開くこと。それが、やがて文明となった。人々が神をつくりだしたのは自然を畏怖したからだ。祈りは自然を人間の意志に従わせようとする行為でもあった。人々はどのように災害と向き合ってきたのか。歴史から考えて見たい。



平川 新
東北大学災害科学国際研究所
所長・教授 (日本近世史)

「iPS細胞・これからの取組み」

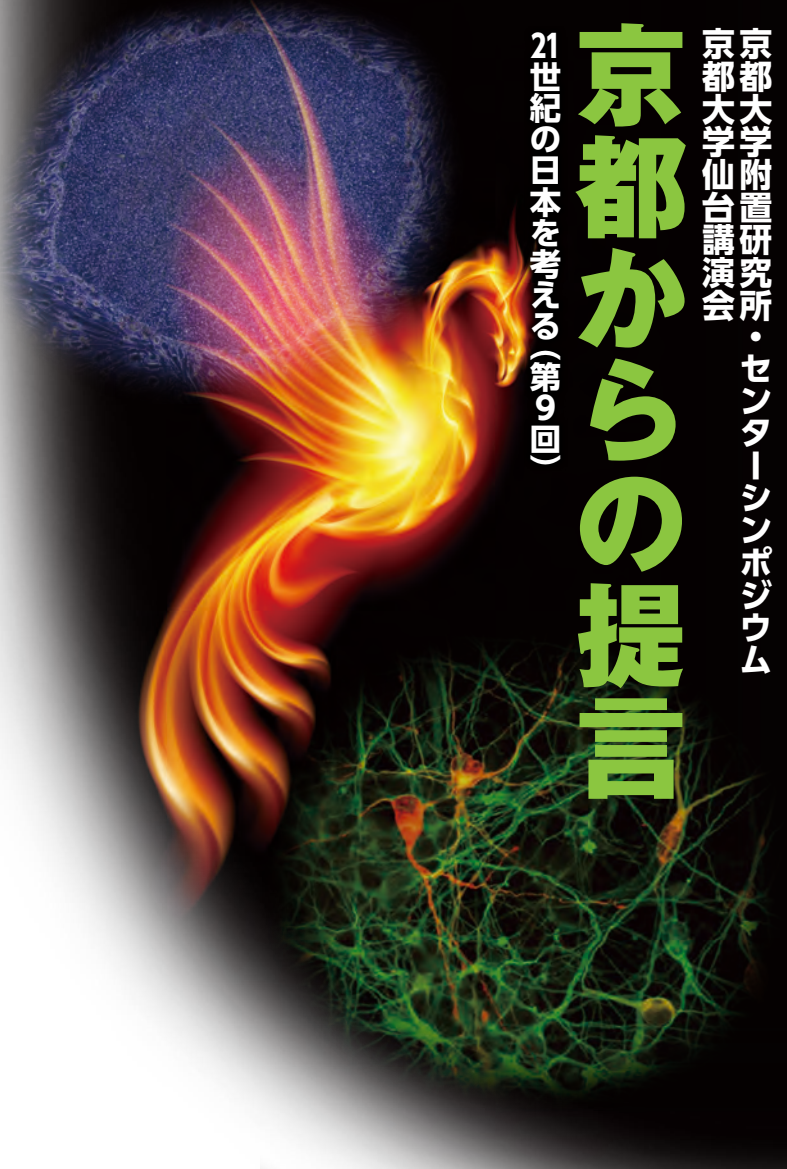
私達の研究所では、2010年の発足以来、iPS細胞技術を医療の場に届けるため、10年間の目標として、次の4つを掲げています。それは、①基盤技術の確立と知的財産権の確保、②再生医療用iPS細胞の樹立と供給の開始、③再生医療研究の開始、④難病・希少疾患の治療薬開発、です。これらの達成を通じ、一刻も早くiPS細胞による再生医療を患者の方々に届けるべく、200名以上の教職員や学生と研究に取り組んでいます。



山中 伸弥
京都大学
iPS細胞研究所
所長・教授

京都大学 附置研究所・センター

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| ■ 化学研究所 | ■ 経済研究所 | ■ 地域研究統合情報センター |
| ■ 人文科学研究所 | ■ 数理解析研究所 | ■ 学術情報メディアセンター |
| ■ 再生医科学研究所 | ■ 原子炉実験所 | ■ フィールド科学教育研究センター |
| ■ エネルギー理工学研究所 | ■ 豊種類研究所 | ■ こころの未来研究センター |
| ■ 生存圏研究所 | ■ 東南アジア研究所 | ■ 野生動物研究センター |
| ■ 防災研究所 | ■ iPS細胞研究所 | ■ 物質-細胞統合システム拠点 |
| ■ 基礎物理学研究所 | ■ 放射線生物研究センター | |
| ■ ウイルス研究所 | ■ 生態学研究センター | |



京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都大学仙台講演会
京都からの提言
21世紀の日本を考える(第9回)

質疑応答



司会者
岩田 博夫
京都大学
再生医科学研究所
所長・教授 (医用高分子、組織工学)

お申し込み方法 (受付開始日:平成26年1月15日(水))

○ウェブでの申込み

- ・参加申し込みフォームからお申込ください。
- ・ホームページアドレス <http://www.kuic2014.jp/>

○FAXでの申込み

- ・冒頭に「京都大学シンポジウム参加申込」と明記し、①氏名(ふりがな)、②連絡先のFAX番号および電話番号、受付通知をメールにて希望される方はメールアドレス、③年齢、をご記入の上、事務局FAX番号(075-751-4646)宛にご送付ください。受付後、こちらから確認のFAXをお送りします。

○往復はがきでの申込み

- ①氏名(ふりがな)、②住所、③連絡先の電話番号、④年齢、をご記入のうえ、下記あてにご送付ください。

返信はがき(表)に、送付先の住所、氏名を必ず記入してください。

〒606-8507 京都市左京区聖護院河原町53
京都大学再生医科学研究所 総務掛

